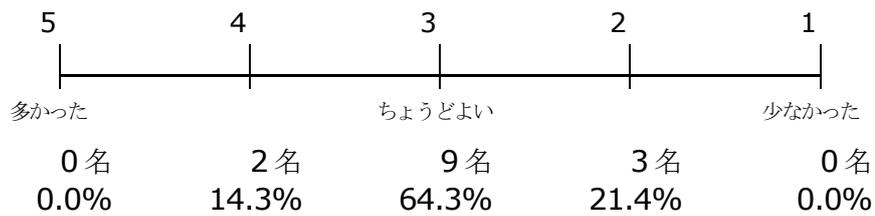


平成 26 年度入間市糖尿病性腎症重症化予防事業
保健指導参加者へのアンケート結果

保健指導終了者 15 名に対し、保健指導に関するアンケート調査を実施したところ、14 名の者から回答がありました。アンケート項目・回答内容等については、次のとおりです。

1 保健指導は生活習慣の見直しを確認する参考となりましたか。					
5	4	3	2	1	
----- ----- ----- ----- -----					
参考になった					参考にならなかった
10 名	4 名	0 名	0 名	0 名	
71.0%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	
<p>参加した被保険者、全員が生活習慣の見直しを確認する参考になったと回答しています。 保健指導は、主治医の治療と併行して日常生活支援・指導を行いました。主治医の指導内容等を再確認したり、疑問に思っていたことなどを解消したりする好機会になったと考えています。</p>					
2 保健師の指導内容は分かりやすかったですか。					
5	4	3	2	1	
----- ----- ----- ----- -----					
分かりやすかった		ふつう			分かりにくかった
12 名	2 名	0 名	0 名	0 名	
85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
<p>参加した被保険者、全員が保健師の指導内容が分かりやすかったと回答しています。 糖尿病に関する専門知識や経験を持った保健師・看護師が保健指導にあたったことから、的確なアドバイスができたものと思います。また、被保険者の目線で一緒に生活習慣と向き合い、共感しながら生活支援・指導を行ったことも分かりやすさに繋がったと思います。</p>					
3 保健指導で得られた知識等は、今後も実践していけそうですか。					
5	4	3	2	1	
----- ----- ----- ----- -----					
実践できる					実践は難しい
6 名	7 名	1 名	0 名	0 名	
42.9%	50.0%	7.1%	0.0%	0.0%	
<p>参加したほとんどの被保険者が、保健指導で得られた知識等を今後も実践できると回答しています。 被保険者の症状や日常生活を尊重した保健指導を行い、セルフモニタリングで自己の症状を把握することの重要性や血糖管理・禁煙等において、目標を達成したときに肯定的評価を行うなど、被保険者が継続して実践できる分かりやすい指導内容であったと思います。</p>					

4 保健指導の回数はいかがでしたか。



参加したほとんどの被保険者が、保健指導の回数はちょうど良かったと回答しています。月に1~2回の指導としたため、1回あたりの指導時間は1時間程度と長時間ではあったものの、被保険者に対する負担は最小限に抑えられたと考えます。

5 今後、腎症患者さん同士の集まりがあったら、参加したいですか。



結果としては消極的な印象も受けますが、保健事業に参加した被保険者であること、アンケートの1~3の回答で参加した効果を実感していることから、糖尿病性腎症患者の集まりがあれば、参加いただける可能性は大きいと考えます。被保険者のQOLの維持・向上を保持していくためには、腎症患者の会を立ち上げることは有効な手段であると考えます。この事業を継続実施していく中で、立ち上げるか否かについて考えていきます。

6 ご意見等ございましたらご記入ください（この事業以外のことでも構いません）。

- ・大勢いる患者の中で、選ばれて早く勉強することができてありがたかった。セルフモニタリングは分かっているものの、一部しかすることができず、知らないうちに症状がわるくなっていた。この保健指導を機に、元気でいられるよう頑張ります。
- ・大変参考になり、感謝しています。これまでは、糖尿病性腎症を軽く考えていました。保健指導にあたった保健師の熱心な説明により、ポイントも分かりました。これからは、自分で積極的にセルフモニタリングをし、HbA1cを下げるよう努力します。
- ・保健指導、ありがとうございました。今後の健康のため保健指導の内容を守り、病気と向き合っていきたいと思います。
- ・数値目標を立てた保健指導の方が良いと思います。一般論が多かったのですが、具体的な数値結果を交えたものであれば、より効果が大きくなると思います。いずれにしても、患者本人の意識の問題にはなりますが、その入り口をノックしてもらえたことに感謝します。
- ・保健指導を受けた結果、体重を減らすことができ、血液検査の結果も悪くなくなり、安心して生活を送ることができます。保健指導で得られた知識を実践していきたいです。